



Walk with Children

めぐろ

大人 大人 大人

せいび

193号
2023年9月

「光の子」として生活しなさい。実に光が結ぶ実は、あらゆる善意、正しさ、真実をそなえたものです。

エフェゾ 5章8～9節

校長 シスター 小島 理恵

今年度前期後半がスタートしました。今夏は、例年になく猛暑日の連続のみならず、地震や台風、洪水、山火事などの自然災害が地球上の各所に及んでいることに危機感を覚える日々でした。学校では、苦しい思いをしておられる方々のために、一日でも早く安心した日常が取り戻せるよう、朝礼時に皆で祈りを捧げています。

さて、夏休みが明けて登校してきた子ども達は、みな満面の笑顔でした。「早く学校に行きたかった！」という声が多く聞かれます。何が一番の楽しみなのでしょう。尋ねてみますと、どの学年も「友達と一緒に遊ぶこと」が理由の第1位を占めています。一緒に遊んだり、おしゃべりをしたり、活動したりする体験は、子ども達にとって大きな喜びであり、幸せであるのだと改めて感じさせられました。

夏休みの自由研究が、各教室や廊下に展示されています。どの作品も子ども達の頑張りが手に取るように伝わってきます。教室を巡りますと、自分の傑作である自由作品を是非見てほしい、と手を引いてくれる子ども達もたくさんいます。長いようで短い夏休みだったと思いますが、充実し、楽しい休みの日々だったのでしょうか。

前期後半は2か月のみですので、あっという間に過ぎることと思います。今後も保護者の皆様と共に子どもたちの成長を支えて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

コンネッショナー

Connessione

～つながり～

「Connessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」

マタイによる福音書 17章5節 2023年8月ワールドユースデー教皇ミサにて

この8月、リスボンでカトリックの「ワールドユースデー（世界青年の日）」が開催され、約150万人の若者が集い、約700人の司教様、1万人以上の神父様、そしてフランシスコ教皇様とともにミサを行いました。

世界中から集まった若者たちがそれぞれの国での日常に戻る前に、「何を持ち帰るべきか」と問い、その中で「聞く」という態度について触れられました。

「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」(17,5)と、御父の声がイエス様を示すとおり、なすべきことは「イエス様に耳を傾ける」というただそれだけに要約される、と教皇はおっしゃられました。私達は現実の中で、「5分遅れたらどうしようか」と常になすべきことに追われ、「事情があつて遅れました」と説明してもなかなか理解してもらえない毎日を送っています。

イエス様は福音書の中で、何度も「恐れてはならない」「恐れるな」と繰り返されています。自分の未来を悲観したり、限界を感じたりすることがあっても、イエス様は、世界の現在と未来である私達に向けて「恐れることはない」と言われています。

喧騒の中で過ごす私達が、聞くべき声が聞こえる人であることができますように。そして、恐れずにその選択をしていくことができますように、教皇様の言葉を心にとめておきたいと思います。

夏の集い

4年ぶりに夏の集いが開催されました。2年生から6年生は、来てくれた友達に喜んでもらえるような出し物を考え、準備を行いました。当日は、どの教室からも楽しい声が響きわたり、全校みんなで幸せな時間を過ごすことができました。



6年TGG英語研修

6年

TGG ではホテルの受付体験やコマ撮り動画作り、プログラミング学習を全て英語を使いながら取り組みました。教えていただいたことがとても分かりやすく、よく理解することができました。その中でも一番面白かったのは、コマ撮り動画作りです。英語で作り方を教えていただき、みんなで動画を作りました。完成したのを見たときにはとても感動しました。今回学んだことを忘れないように心にしまっておき、海外に行ったときにこの経験を活かしたいと思います。



オーストラリア研修

6年

「ああ、きん張する。」気をまぎらわそうと必死で友達とおしゃべり。「ああ、どうしよう。」その時、"Hey."という声がありました。声の主はホストマザー。優しい笑顔にどっと肩の力が抜けました。こうして私の9日間のオーストラリア研修が始まりました。

研修中、私達はホストファミリーの家から St.Pius という現地の学校に通いました。学校で私が最も印象に残っているのは、モーニングティーという2時間目のおやつと遊びの時間です。同級生だけでなく他学年も一緒に輪になっておしゃべりしながら食べる様子がとても素敵で、現地の友達と仲良くなれた気がして嬉しかったです。一方で、英語で質問された時、言っている事はわかるのに、何と答えたらいいかわからず、悲しくなった時もありました。私は、言葉を思い通りに話せるというのはいすごい事なんだと初めて心の底から思いました。

9日間で、私の英語力が急激に上がったわけではなかったけれど、自分の言いたい事が相手に伝わった時は、本当にうれしかったです。これからも、もっと英語を勉強し、色々な人と交流したいなと思いました。

最後に、この経験の機会を与えてくれた両親や先生方、サポートして下さった旅行会社の皆様、本当にありがとうございました。私にとってこの研修は小学校の忘れる事のできない思い出の一つになりました。



夏の学校

5年男子 サマースクール

高学年男子としての自覚を高め、互いを認め合い協力することを学びました。

勉強・カレー実習・ハイキングなど充実した時間を過ごせました。



5年女子 森の学校

自分自身を見つめ、高学年として自分にできることは何か、じっくり考えました。様々な出会いを通して新たな発見をすることができました。



6年 夏の学校

国語や算数の学習以外にユニバーサルスポーツを創る活動を行いました。今後予定している1・6年交流会で行えるように、1年生の楽しむ姿を想像しながら班のみんなで協力する姿がありました。最終日には、実際に他の班の友達に実践してもらい、改善点も考えました。交流会当日の6年生の活躍が楽しみです。

